

原子力発電所の運営状況

2026年3月2日
 関西電力株式会社

当社の原子力発電所における運営状況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況（2026年3月1日現在）

発電所		電気出力 (kW)	運転状況	備考
美浜 発電所	3号機	82.6万	運転中	美浜発電所3号機の運転上の制限の逸脱 詳細は3(3)のとおり
高浜 発電所	1号機	82.6万	運転中	
	2号機	82.6万	第29回 定期検査中 2026年1月23日~2026年7月中旬予定	
	3号機	87.0万	運転中	
	4号機	87.0万	運転中	
大飯 発電所	3号機	118.0万	運転中	
	4号機	118.0万	運転中	

2. 廃止措置の状況（2026年3月1日現在）

発電所名	廃止措置の状況
美浜1号機	<ul style="list-style-type: none"> ・2次系設備の解体撤去作業中（2018.4.2～） ・原子炉周辺設備の解体撤去作業中（2022.10.24～）
美浜2号機	<ul style="list-style-type: none"> ・2次系設備の解体撤去作業中（2018.3.12～） ・原子炉周辺設備の解体撤去作業中（2022.10.24～）
大飯1号機	<ul style="list-style-type: none"> ・2次系設備の解体撤去作業中（2020.4.1～）
大飯2号機	<ul style="list-style-type: none"> ・2次系設備の解体撤去作業中（2020.4.1～）

3. トラブル情報等

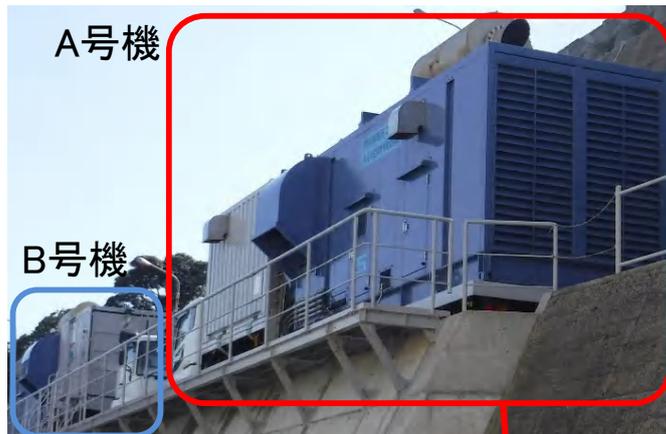
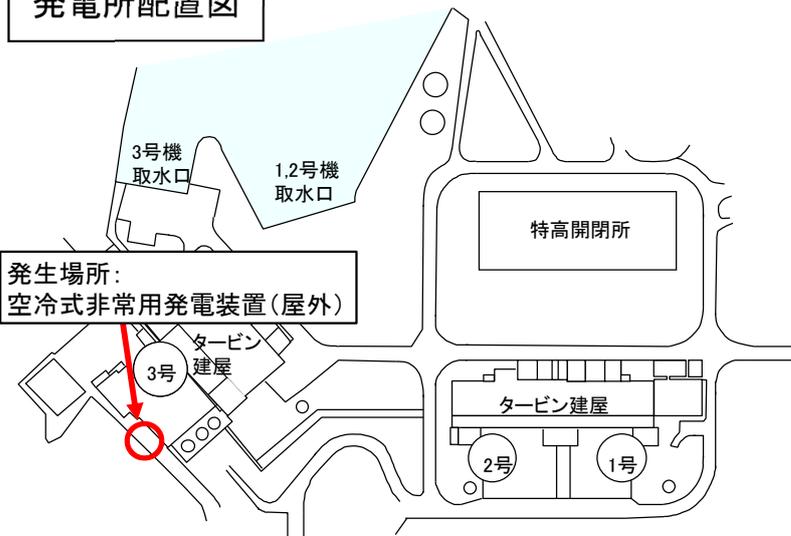
- (1) 法令に基づき国に報告する事象（安全協定の異常時報告事象にも該当する事象）
なし
- (2) 安全協定の異常時報告事象
なし

(3) 保全品質情報等

発電所名	美浜発電所3号機	発生日	2026年2月2日
件名	美浜発電所3号機の運転上の制限の逸脱 添付資料参照		
事象概要 および 対応等	<p>1. 発生状況</p> <p>美浜発電所3号機（定格熱出力一定運転中）において、2月2日15時23分、空冷式非常用発電装置^{※1}等の定期試験^{※2}中に、A空冷式非常用発電装置を起動したところ、15時25分にA空冷式非常用発電装置が自動停止しました。このため、同日15時37分に保安規定の運転上の制限^{※3}を満足していない状態にあると判断しました。</p> <p>当該発電装置が停止した原因を調査した結果、燃料油タンク内の底部に水の層があることを確認しました。このため、燃料油タンク内の燃料を入れ替えて当該発電装置の起動試験をしたところ、動作に異常がないことを確認したことから、2月5日23時00分に保安規定の運転上の制限を満足する状態に復帰しました。</p> <p>本事象によりプラントの運転状態に異常はなく、環境への放射能の影響はありません。</p> <p>※1：非常用ディーゼル発電機（2台）が機能喪失した場合に使用する電源。美浜発電所3号機では2台（A、B）設置している。</p> <p>※2：空冷式非常用発電装置等の機能の健全性を確認するため実施している試験。</p> <p>※3：保安規定第85条において、空冷式非常用発電装置2台が動作可能であることが求められている。</p> <p style="text-align: right;">（2026年2月2日、6日お知らせ済み）</p> <p>2. 調査結果</p> <p>A空冷式非常用発電装置に付属する燃料油タンク内に水（水量は約40L、底面から約3cm）が確認されたことから、その原因を調査した結果、燃料油タンク上部に設置されている通気口の配管内面に水の痕跡（筋状）およびタンク内に微量の結露を確認しました。</p> <p>また、当該発電装置の設置環境を調査した結果、斜面の高台に設置されていることから、吹き上げるような風を受けやすい環境でした。このため、通気口上部に雨除け用のキャップを取り付けていたものの、強風などの際には、雨や雪が通気口に入り込みやすい環境となっていました。</p> <p>当該燃料油タンクについては、水が溜まることを想定し、タンクの底面から5cm上部に燃料供給配管が設置されていますが、タンク底面に溜まった水が燃料ポンプにより吸い上げられたものと推定しました。当該発電装置については、前回の起動試験（2026年1月）時に異常はありませんでした。</p> <p>燃料油タンクの点検履歴について調査した結果、発電所構内の燃料油タンクの運用実績を基に、タンクの水抜きは10年に1回としていました。</p> <p>当該装置は2011年に設置されており、これまで2019年に点検し、それに合わせてタンクの水抜きを行いました。</p> <p>なお、燃料油タンク以外の内燃機関や発電装置について、異常は認められませんでした。</p> <p>3. 原因</p> <p>当該発電装置の燃料油タンク内部の結露や通気口から雨や雪が入りタンクの底部に溜まり、燃料供給配管から内燃機関に流入したことで機関の回転数が低下し、当該発電装置が自動停止したと推定しました。</p> <p>4. 対策</p> <p>定期的に当該発電装置の燃料油タンクのドレン弁から水抜きを実施します。</p>		
	以上 以上		

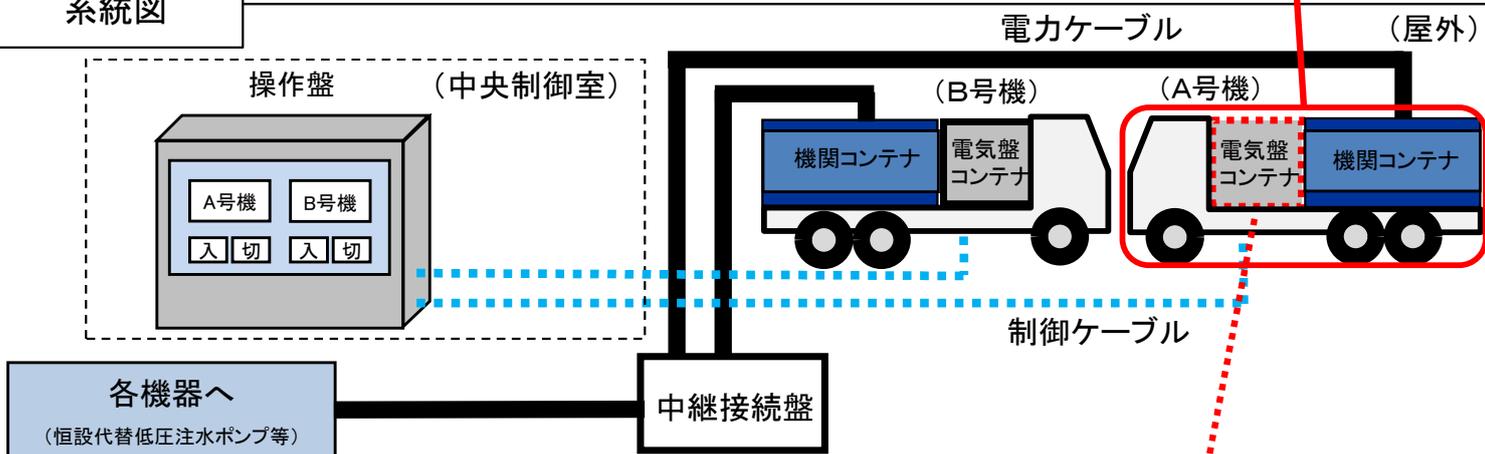
美浜発電所 3号機の運転上の制限の逸脱

発電所配置図



空冷式非常用発電装置

系統図



概要図

